

神戸市外国語大学 学術情報リポジトリ

Irregular sound changes in Chinese body-part nouns (3) : the case of anklebone

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2003-09-30 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 太田, 齋, Ota, Itsuku メールアドレス: 所属:
URL	https://kobe-cufs.repo.nii.ac.jp/records/821

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



漢語の身体名称に見られる特殊変化(3) (完)

—「踝」の諸語形をめぐる憶説—

太 田 齋

§7 「螺丝骨」

「踝」を“螺丝骨”という地点も少なくない。分布域は北方方言では河南、陝西及び西南官話地域に偏る。

- 河南许昌：螺车骨/luóchēgū/ 踝骨 807
- 河南鄆城：螺齿骨 $luo^{42} t\check{s}^{h10} ku^{24}$ 脚踝 656
- 河南西平：螺齿骨 $luo^{53} ts^{h1} ku^{24}$ 脚踝 507
- 河南周口地区：螺翅骨 $\underline{lu\theta} ts^{h1} cku$ 踝子骨 (西区) 901
- 河南周口：螺刺骨/luo⁵³ ci³¹ gu²⁴/ 踝骨 621
- 河南洛宁：脚拉刺骨/jue⁵⁵ la⁵⁵ ci²¹ gu⁴⁵/ [tɕye⁵⁵ la⁴⁴ ts²¹ ku⁴⁵] 踝骨 597;
ts²¹ 当作 ts^{h1}21}
- 河南栾川：脚尔刺骨/jüo⁵⁵ le³¹ ci³¹ gu⁵⁵/ 踝骨 621
-
- 河南郸城：脚螺骨子/juo²⁴⁻²² luo⁰ gu²⁴⁻²² zi⁰/ 踝骨 563
- 河南周口地区：脚螺骨子 $c\tau\epsilon y\theta \underline{lu\theta} ku\theta ts\eta$ 踝子骨 (东区) 901
- 河南新安：脚踝刺骨 踝骨 575
- 河南舞钢：踝赤骨 729
- 陝西略阳：踝尺拐 脚踝 523
-
- 河南罗山：螺丝骨 踝骨 635

河南遂平：螺丝骨/luo⁵³ si⁰ gu²⁴/ 踝骨 535

陕西岚皋：螺丝骨 luo³¹ sɿ⁴⁵ ku³¹ 踝骨 530

陕西北乡：螺丝骨 lo²¹ sɿ³⁴ ku²¹ 踝 717

河南信阳地区：螺蛳拐 踝子骨 941

陕西西乡：螺丝拐 脚踝 594

陕西凤县：螺蛳拐 luo²⁴⁻³¹ sɿ³¹⁻⁴⁴ kuæ⁰² 踝骨 590

これらの語彙は“踝骨” yua kuət→yuat kuət→xuat ta kuət→xuat la kuət→xuat lua kuət→xua? luo kuə? となった段階で xua? luo から“海螺”が想起されて“海螺骨”というような当て字がなされ、その“海螺”が類義語“螺蛳”に取り替えられて“螺蛳骨”となり、“螺丝骨”というような当て字がなされるようになったものであろう。河南舞鋼，陝西略陽方言の語形はいずれも音声記号がなく，類例ではない可能性もあるのだが，下記の山東莒県，河北宣化方言の例に見られるように“踝”を“螺”の如くに発音する例がある。方言によっては“裸”（但し声調は異なる）との混同でこのような字音が成立していた可能性もないではない。そうであれば河南許昌方言などの例と同様に扱うことができる。とりあえずは同類の如く一緒に並べておくと，“踝骨xuat kuət”→“踝拉骨xuat la kuət”→“踝螺骨xuat lua kuət”となった後で，一音節目が脱落したが漢字表記は“踝骨”としたために，結果的に“踝”に“螺”と同音の字音が生じたという可能性もある。河南鄆城方言の例は用字は異なるが，このような変化を経て成立したもののように思える。これらについては将来のより正確なデータの集積を待つて改めて論ずるべきであろうと思われるので，ここではこれ以上は触れない。もし既に取り上げたように，“踝拉骨”と“踝子骨”のぶつかり合いで“踝[xuai] 拉骨”という語形が先に成立していたのならば，この語形を基にして xuai luo gu 若しくは xai luo gu のように初めの二音節がより“海螺”に近い音声形式となっていた可能性がある。後者 xai luo gu は異化作用により初頭音節の介音が脱落したものであるが，この形式には既に類音牽引

による変化が生じていると見なすべきかも知れない。以下の類例を参照されたい：

河北崇礼：海老股疙瘩 踝子骨 词汇267

河北宣化：海踝骨疙瘩 xai⁵⁵ luo⁴² ku⁵⁵ ke?³ tAɣ⁰ 脚踝骨 882；平声调值42

山东莒县：怀踝疙瘩 xuai⁵³⁻¹³ luɣ⁰ kɣ⁵⁵⁻¹³ ta⁰ 126

一見，“海螺”という語は内陸の地域の人間にとってはなじみのないもののように思えるが，方言によってはこの語形で「カタツムリ」や「巻貝」，「タニシ」，「カラス貝」を指すこともある。そして“(河)蚌”，“螺蛳”はそれぞれ本来「カラス貝」，「巻貝」を指すはずなのに，指示対象が混乱している場合が多い。以下の例を参照されたい：

山西忻州：海螺子 xæ³¹³⁻⁴² lɛ³¹ tə⁰ 蜗牛 81

山西定襄：海螺子 xæ²¹⁴⁻⁴² lɔ²¹⁴ tə?² 蜗牛 40

河北大厂：碱螺子 螺蛳 词汇154

山西太原：小海螺 ciau⁵³⁻¹¹ xai⁵³ luɣ¹¹ 螺蛳 词典146

河北石家庄：海螺蚌 xai⁵⁵ luo⁴² pəŋ²¹³ 蛤蜊 1914

河北张北：海螺钵儿 蚌 659

河北平乡：海拉泊儿 xɣ⁵³ la⁴⁴ por⁰ 蚌 865

河北获鹿：海拉蚌儿 xæ³⁵ la⁰ por³¹ 蚌 116

海拉把儿 xæ³⁵ la⁰ par³¹ 蚌(台头叫名) 116

河北高邑：海拉八儿 蚌 655 =元氏 469, 新乐 686

河北定州：海拉巴子 xai²⁴⁻²¹ la⁰ pa³³ tsɿ⁰ 蚌 1132

河北灵寿：海拉巴 河蚌 志705

河北隆尧：河拉掰 蚌 920

河北抚宁：哈喇贝儿 螺蛳 词汇154

河北唐县：海捞巴儿 xɛ⁵⁵ lo⁵ pa⁰ ɤ⁵⁵ 蚌 749

山西怀仁：海蚌 xei⁵³ pər³¹ 蜗牛，也指蚌 35

山西山阴：海蚌儿 xɛi⁵² pʌr³³⁵ 蜗牛、蚌 32

山西清徐：海蚌蚌 xai⁵³ pəʔ² pɒ¹¹⁻¹⁰ 蜗牛，螺蛳，蚌 36
宁夏中卫：蚌壳子 pəŋ¹³ k^hə¹³ tsɿ⁰ 螺蛳 108

北京平谷：螺蛳 luo⁵⁵ sɿ⁰ [tsə⁰] 182
□□螺儿 xua²¹⁴⁻²¹ xua⁰ luor⁵⁵ 182
陕西镇巴：旱螺蛳 蜗牛 650
河北安次：咸螺蛳 螺蛳 词汇154
河南内乡：螺齿儿/luo³²³ chir⁰/ 河蚌 280
河北三河：螺 chēr 儿 螺蛳 (≡天津蓟县) 词汇154
天津蓟县：螺齿 田螺 词汇154
河南镇平：螺齿儿/luo⁴² chir⁰/ luo⁴² tʂ^hier⁰ 河蚌 943

陕西凤翔：大蜗蜗牛 ta⁴⁴ kua⁵² kud⁰ niou²⁴⁻³¹ 螺丝 924
蜗蜗牛 kud⁵² kud⁰ niou²⁴⁻³¹ 蜗牛 924
甘肃皋兰：蜗蜗牛 kūa²² kua²¹¹ liou⁵³ 蜗牛，田螺 830

今のところ“海螺蛳”という語形の報告例が見当たらないので、可能性は低いと言わざるを得ないが、山西忻州，定襄方言の“海螺子”は或いは“海螺蛳”の“蛳”が名詞接尾辞“子”に取り替えられてできたものかも知れない。陝西鎮巴方言に“旱螺蛳：カタツムリ”がある。この語形から生じた可能性も検討すべきであろう。この他“骡子”がその成立に関与した可能性もまた検討する必要がある。“蹠”はその形態的特徴から言えば、「卷貝」より「カラス貝」に近いのに，“螺蛳骨”のような語形で現れるというのは、恐らく上掲例に見られるような両者の混同による指示内容のズレが関係しているものと思われる。

上掲の「カラス貝」の例には河南鎮平，内郷方言の“螺齿儿：カラス貝”などのように“蛳”が有気破擦音になっているものがある。この変化の理由は不明である。とりあえずの解釈として二通り考え得る。その一つは「鼠」

との類音牽引がもたらした変化という見方である。「鼠」には“老鼠”—“老输：いつも負ける”の類音関係を嫌ったものか、はたまた「鼠」が霊力を持つ動物と見なされていることによる一種のタブー回避によるものか、以下のように発音をずらしたと思しき例がある。“鼠”は書母字で、“暑、黍”と同音である。規則的に変化すれば、声母は [ʂ] (そり舌音声母を持たない方言にあっては [s]) となるはずであり、破擦音となるのは音韻通則の例外となる。同音字の“暑、黍”にはこのような反映は見られないから、“鼠”一字に起こったことと考えられる。

山东郯城：老鼠 lɔ²⁴ tɕ^hu⁰ 86

山东莒南：老鼠 lɔ²⁵⁵⁻²¹³ tɕ^hu⁰ 21

山东微山：老鼠 lɔ³⁵ ts^hu⁰ 1125

河北乐亭：老出(轻声)：地老鼠 词汇 114

河北内丘：老虫 老鼠 词汇 114

河南济源：老出 lau⁵³ tɕ^hu⁷³ 老鼠 FY22

山西晋城：老鼠 io¹¹³⁻¹¹ tɕ^huə⁷²⁻⁰² 38 (io 当作 lo)

山西高平：老畜 loo²¹² tɕ^huə⁷³ 老鼠 535

陕西宁强：老鼠子 lau³⁵ ts^hu⁰² tsɿ⁰² 老鼠 609

本来“老鼠”と類音関係にあった“螺蛳”が、“老鼠”のこのようなズレを機に、同様に発音をずらしたということである。ただそうであるならば、“螺蛳”の“蛳” (中古生母字) が破擦音になるのは“老鼠”の“鼠”が破擦音になっている方言に限られることになり、「鼠」をやはりタブー回避で“耗子”と言い換えてしまっている方言にあっては、“螺蛳”はもはや「鼠」と類音関係にはないから、方言間借用が無い限りにおいて、“蛳”が破擦音になる余地はないことになる⁴³。現時点ではデータが極めて不十分で、それを検証できないため、十分な説得力がない。

それ故、本稿ではもう一つの解釈の方を採用しておきたい。それは先に“踝”の方に同様の变化 (取替え) が起こり、それに倣って“螺蛳(儿)” →

“螺齿(儿)” となったとする見方である。今“螺蛳骨”の“蛳”に該当する音節の声母が有気破擦音になっているものを“螺齿骨”という漢字表記で代表させることとしたい。これと“螺蛳骨”のどちらが先に成立したか大いに検討の余地があるが、先ずは“螺蛳骨”が先に成立し、これと「肋骨」との類音牽引で“螺齿骨”が生じた可能性がある。以下の「肋骨」を表す方言語形を参照されたい。一部は § 2.1 で既に挙げたものである：

山东平度：肋齿骨	lei ⁵³ tɕ ^h ku ⁵⁵	肋骨	117
山东即墨：肋齿骨	luei ⁴² tɕ ^h ku ⁵⁵	肋骨	志76
山东莱成：肋翅骨	le ²² tɕ ^h ku ²¹³	肋骨	106
山东沂水：肋查骨	lei ²¹⁻⁴⁴ tɕ ^h ku ⁴⁴	肋骨	90
山东莱西：肋刺骨	lx ⁴² ts ^h ku ⁴⁴	肋骨	873
山西太原：肋罗齿	liə [?] 2-54 lx ¹¹ ts ^h ku ¹¹	肋骨	词典287
河北昌黎：肋叉骨	luei ⁵⁵⁻⁴³ tɕ ^h a ²¹³⁻²⁴ ku ²¹³		232
山东博山：肋叉	luei ³¹⁻⁵⁵ tɕ ^h a ⁰	肋骨	研究 136
山东淄川：肋腮	luei ³¹⁻⁵⁵ tɕ ^h a ⁰	腋下到胯骨之间	81
山东济南：肋叉子	luei ³¹ tɕ ^h a ⁴⁴ tsɿ ⁰	肋间	市志144

山西文水：肋肢	lə [?] 2-1 tsɿ ²⁰	肋骨	78
山西天镇：肋肢	lua [?] 32 tsɿ ³¹	肋骨	42
山西万荣：肋肢	lΛŋ ⁵¹ tsɿ ²⁰	肋骨	词典331
河南武涉：肋子	lb [?] 3 tsɿ ²		515
陕西甘泉：肋子	lei ⁴¹⁻³¹² tsɿ ⁴¹		730
河南获嘉：肋支	lə [?] 33 tse [?] 0	肋巴骨	课本494
山西平遥：肋子儿	lΛ [?] 53 tsɿ ¹³⁻³¹ zΛ [?] 23	肋间	116
山东临朐：肋椎骨	luei ²¹⁻⁵⁴⁴ tɕuei ⁰ ku ⁵⁵		30
山东寿光：肋肘骨	luei ²¹⁻⁵⁵ tɕu ⁰ ku ⁰	肋骨	463
山东淄川：肋肢骨	luei ³¹⁻⁵⁵ tɕu ⁰ ku ⁰	肋骨	81

山东博山：肋之骨	luei ³¹⁻⁵⁵ tʂl ⁰ ku ²¹⁴	肋骨	研究 136
山东临淄：肋支骨	luei ³¹⁻⁴⁴ tʂl ⁰ ku ⁴⁴	肋骨	561
山西陵川：肋肢骨	li ^Δ ? ³⁴ tʂl ³³ ku ^ʔ ? ³²	肋骨	43
山西沁县：肋支骨	lu ^Δ ? ⁴ tʂl ²¹³⁻²² ku ^ə ? ⁴	肋骨	31
山西清徐：肋支骨	l(i) ^ə ? ⁴ tʂl ²¹³⁻²² ku ^ə ? ⁴	肋骨	40
山西平遥：肋支骨	l ^Δ ? ⁵³ tʂl ¹³⁻³¹ ku ^Δ ? ²³⁻⁴⁵	肋骨	116
陕西西安：肋子骨	lei ²¹ tʂl ⁰ ku ²¹	肋骨	134
陕西岐山：肋子骨	ɕl ^{əi} tʂl ɕku	肋骨	700
山西榆次：肋露支	li ^Δ ? ²¹ l ^Δ ə ²⁵ tʂl ⁵³	肋骨	1012
山西清徐：肋罗支	li ^ə ? ² l ^ʁ w ¹¹ tʂl ¹¹	肋骨	40

甘肃白银：肋巴翅子/léipācīzi/ 肋骨 888

「肋骨」も恐らく“肋肢骨”若しくは“肋支骨”（“肋枝骨”という漢字表記は見かけないが、原義は枝状になった骨ということだろう）という語形と“肋叉子(また“肋杈子”とも表記される)：肋骨くあばら+また状に分かれたもの”という別の方言語形との混交によって“肋齿骨”のような語形が成立したものと思われる。河北昌黎方言の“肋叉骨”はこのような混交に至る前段階を示すものである。“螺蛳骨”がこの“肋齿骨”との間に混交によって、“螺齿骨”のようになり、それに倣って“螺蛳”も“螺齿”となったのである。或いは“螺蛳骨”と“肋叉子”の混交、若しくは“肋叉骨”の類音牽引によって“螺齿骨”，“肋蛳骨”及び“螺齿”という語形が成立したとの見方もできる。山西万荣方言の奇異な「肋骨」の音声形式も恐らくこの観点から説明が可能である：

山西万荣：懒筋疙瘩 lǎ⁵⁵ tci^{ei}53 ku²⁴ ta³³ 内踝骨和外踝骨的统称 词典275

cf. 蜗牛 ku^ə51 ŋəu²⁴ 一种软体动物，头部有两对触角，腹面有扁平的脚，壳有螺旋纹，白色或黄色 词典310

cf. 骡子 lu^ʁ24 tu³³ 一种牲畜，由驴与马交配所生 词典147

“懶筋”とは「アキレス腱」のことで、「踝」を「アキレス腱の（辺りの）こぶ」というような捉え方をした言い方である。この方言においては他の方言とは異なる語形の「踝」と「肋骨」との間に混交が生じて、後者の“肋”の音節が特殊な対応を示すようになったと考えられる。“懶”[læ̃]と同音ではなく [lɛŋ] となっているのは *lei/lɛ→lɛŋ 若しくは *lɛʔ→lɛŋ のような変化を遂げたということだろう。同方言には [lɛ] という音節はなく、体系的に *lɛ>lɛŋ となっている可能性も無いわけではないが、そのような音韻変化の報告例はなく、後者の方が蓋然性が高い。既に入声が失われてしまっているが、恐らくまだ入声韻尾が保たれていた時代に如上の変化が生じたのであろうと考えられる。[lei],[lɛ],[lɛʔ] のいずれにせよ、もし鼻音韻尾が生じるならば、その最も近い単字音形式は [lɛŋ] である⁴⁴。所拠文献には「巻貝」,「カラス貝」が挙げられておらず、万榮方言において“螺螄”に当る音声形式が実際に用いられているのか、そうであれば具体的な音声形式がどのようなものであるか、知りようがない。それ故、即断はできないが、如上の推測が正しければ、万榮方言の「踝」の語形もまたこの二つの身体名称が容易に結びつけられるものであることを示していると言えよう。「肋骨」の第二音節が [tɕʰa] のようになっている語形は「下顎」からの類推が働いた結果かも知れない⁴⁵。

- | | | |
|----------|--|----------|
| 河北张北：牙叉骨 | 颌骨 | 658 |
| 陕西凤翔：牙叉骨 | id ²⁴ tsʰa ³¹ ku ⁰ | 下巴 928 |
| 陕西陇县：牙荏骨 | ia ³¹ tsʰa ⁴⁴ ku ³¹ | 上下颌骨 953 |
| 甘肃临夏：牙楂骨 | ia ¹³ tɕʰa ¹³ ku ⁴⁴ | 下颌骨 1334 |
| 甘肃定西：牙叉骨 | cɲia / ca ² gu/ | 颌 201 |
| 甘肃卓尼：牙岔骨 | yácàgú/ | 下顎骨 708 |

「踝」の方が「カタツムリ」,「巻貝」,「タニシ」,「カラス貝」に影響を及ぼすというのは一見奇異に感じられるが、地域によってはこのような貝類は必ずしもそうお馴染みの存在であるとは限らない。安易に一般化して考える

のは慎むべきあるが，“螺蛳”，“(河)蚌”，“蜗牛”という語形が全ての方に初めから備わっていたという仮定の上で話を進めると，この三つの語形それぞれが本来指す「巻貝」，「カラス貝」，「カタツムリ」が余り身近なものでないからこそ，単語とその意味内容との間に上掲例に見られるようなズレが生じる訳である⁹⁹。使用頻度は身体名称の「踝」の方が恐らく高い。以下の例はこれらの貝の名称が比較的新しい文化的語彙に対してさえも劣勢にあることを示すものではないだろうか：

河北安次：螺丝转　螺蛳　词汇154

河北安次：螺丝转儿　田螺　词汇154

河北获鹿：海锥　螺蛳（＝河北正定）　词汇154

“螺丝转”の本来の語形は恐らく“螺蛳锥”（←“螺蛳”＋“海锥”）であつたろうと思われる。これまでに挙げた例の中に“螺蛳”が「ネジ」ではなく「巻貝」の意味であるにも拘らず“螺丝”と漢字表記される例があつた。これはこの語形以外ではまず用いられることのない余り馴染みのない字である“蛳”に対して画数の少ない常用字である“丝”を当てたということである。それ故このような“螺丝”が直ちに「ネジ」を示すものと考えべきではないが，かかる表記が通行することもまた“螺蛳”自体がそれほど身近ではないことの証左と言える。“蛳”が画数が多く書写に面倒な字であるにせよ，常用語であれば別の意味に取られるような当て字に改められることはないはずだからである。これが「ネジが回る」といったような語形に変えられるには“转陀螺：コマを回す”といった語彙の関与もあつたかも知れないが，そうであるにせよ日々の暮らしの中で「巻貝」，「タニシ」，「カタツムリ」といった生物より「ネジ」の方がより大きな存在であることを示していると言えよう。ならば“螺齿骨：踝”（←“螺蛳骨”）が元祖の“螺蛳”に影響を与えて，右倣えさせるということも十分あり得ることである。

注

- (13) 但し“老鼠”と“螺蛳”が類音牽引を生じて、“蛳”が破擦音になった後に“老鼠”から“耗子”への言い換えがなされたならば、その限りではない。この点についても仔細な検討がなされねばならない。
- (14) 方言調査者及び被調査者の音節同定のあり方にも関係するが、連音変化によって生まれた形式は不安定で、最も近い単字音形式に一致して安定しようとする傾向がある。
- (15) この推定はここに示したような「下顎」の語形が先に成立していたことを前提としているが、この語形が「肋骨」の第二音節が [tʂ'a] となる語形より先に成立していたかどうか今断定できる論拠がない。もしこれらの「下顎」語形が後発のものであれば、「肋骨」が影響を及ぼした可能性を検討せねばならない。“牙叉骨”の方はまた“牙齿”，“牙花(子)：齒茎，齒垢”，“牙床(子)：齒茎，齒垢”，“下巴骨”(←“下巴頰”)の混交で成立した可能性がある。現時点では具体的にこのうちのどの語形が関与したのかよく分からない。これについては稿を改めて検討したい。
- (16) ずれた結果、どの語形が生存競争に生き残るか、それは本来指していた実体の身近さの度合いとは必ずしも関係しない。それは内陸の方言において“海螺”が「カタツムリ」を指すことを見れば容易に理解できる。上掲例中の陝西鎮巴方言の“早螺蛳：カタツムリ”は「乾いた(所に住む)巻貝」といった言い方から成っており、少なくとも同方言にあっては「カタツムリ」より“螺蛳”の方が身近な存在であることを示している。但し同方言の“早螺蛳”の“螺蛳”が現在何を指すものか、残念ながら資料の制約上知り得ない。方言によっては“螺蛳”，“(河)蚌”，“蜗牛”のいずれかの語形が「貝」一般を指す名称として用いられている。鎮巴方言の“螺蛳”も貝の総称であるかも知れない。

参考文献

- 平山久雄 中古漢語の音韻 牛島徳次等編『言語』(中国文化叢書1)大修館 1967.11 pp.112-166
- 岩田 礼 漢語方言史の不連続性—中国語言語地理学序説— 静岡大学人文学部人文論集第45号の2 1995.1 pp.43-77
- 刘淑 学 中古入声字在河北方言中的读音研究 河北大学出版社 2000.5 218p.
- 太田 斎 常用語彙中に見える例外的対応形式について(1) —「今日」と「今年」を例に— 神戸外大論叢第45巻第4号 1994.9 pp.41-60
- 太田 斎 北方方言怪音例集(1) —語流音変以及其他特殊音変— 神戸市外国語大学外国学研究所 外国学研究31(アジア言語論叢) 1995.3 pp.105-170
- 太田 斎 論漢語方言中的“類音牽引”和“同音詞衝突” 神戸外大論叢第50巻5号 1999.10 pp.19-36
- 太田 斎 漢語北方方言的常用詞的特殊演變 —“煎餅”，“灯蛾”，“狐狸精”，“啄木鳥”— 神戸外大論叢第52巻7号 2001.12 pp.25-33

方言资料

综合性

北方：普通话基础方言基本词汇集3 陈章太等主编 语文出版社 1996.10 pp.2001-2908 (略称 普通)

[安徽合肥；甘肃天水、兰州；河北邯郸、平山、阳原、张家口；河南灵宝、原阳；黑龙江哈尔滨、齐齐哈尔、佳木斯；湖北天门；吉林通化；辽宁丹东；内蒙古二连浩特、呼和浩特、集宁、临河；山东济南、济宁；山西长治、大同、离石、临汾、太原；陕西宝鸡、绥德；天津市；新疆乌鲁木齐]

普通话基础方言基本词汇集4 陈章太等主编 语文出版社 1996.10 pp.2909-3870 (略称 普通) [山东济宁]

北京

密云：密云县志 密云县志编纂委员会 北京出版社 1998.11 pp.629-638

平谷：平谷方言研究 陈淑静 河北大学出版社 1998.3 292p.

甘肃

白银：白银市志 白银市地方志编纂委员会 中华书局 1999.9 pp.884-891

成县：成县志 成县地方志编纂委员会 西北大学出版社 1994.4 pp.815-824、834

定西：定西县志 定西县志编纂委员会 甘肃人民出版社 1990.1 pp.191-209

敦煌：敦煌方言志 刘伶 兰州大学出版社 1988.8 250p.

皋兰：皋兰县志 皋兰县县志编纂委员会 甘肃人民出版社 1999.11 pp.798-844

静宁：静宁县志 静宁县县志编纂委员会 甘肃人民出版社 1993.6 pp.516-557

临夏：临夏回族自治州志《临夏回族自治州志》编纂委员会 甘肃人民出版社 1993.6 pp.1321-1382

陇西：陇西县志 陇西县志编纂委员会 甘肃人民出版社 1990.6 pp.703-714

通渭：通渭市志 甘肃省通渭县县志编纂委员会 兰州大学出版社 1990.10 pp.659-670

武威：武威市志 武威市市志编纂委员会 兰州大学出版社 1998.1 pp.759-769

永昌：永昌县县志编纂委员会 甘肃人民出版社 1993.7 pp.1007-1019

张家川：张家川回族自治县志 张家川回族自治县地方志编纂委员会 甘肃人民出版社 1999.12 p.1389-1448

舟曲：舟曲县志 甘肃省舟曲县志编纂委员会 生活·读书·新知三联书店 1996.1 pp.662-692

卓尼：卓尼县志 卓尼县地方史志编纂委员会 1994.12 pp.705-712

河北

全省：河北方言词汇编 李行健主编 商务印书馆 1995.10 955p. (略称 词汇)

[安次、霸县、博野、昌黎、崇礼、大厂、定兴、丰润、抚宁、藁城、广平、邯郸县、怀安、获鹿、建屏、井陘、乐亭、灵寿、滦县、内丘、平山、迁安、清苑、曲阳、三河、束鹿、商都、唐山、万全、新乐、兴隆、玉田、赞皇、正定]

- 安国：河北省安国市地方志编纂委员会 方志出版社 1996.9 pp.905-944
- 博野：博野县志 博野县地方志编纂委员会 河北人民出版社 1996.10 p.545-576
(略称志)
- 昌黎：昌黎方言志 河北省昌黎县县志编纂委员会·中国科学院语言研究所 科学出版社 1960.7 283p.
- 成安：成安县志 河北省成安县地方志编纂委员会 新华出版社 1996.3 pp.769-794
- 赤城：赤城县志 河北省赤城县地方志编纂委员会 改革出版社 1992.8 pp.576-579
- 大名：大名县志 大名县县志编纂委员会 新华出版社 1994.4 pp.623-655
- 定兴：定兴方言 陈淑静、许建中 方志出版社 1997.10 315p.
- 定州：定州市志 定州市地方志编纂委员会 中国城市出版社 1998.1 pp.1107-1145
- 峰峰：峰峰矿区志·方言志 尹大仓等 峰峰矿区地方志编纂委员会办公室 107p.
- 丰宁：丰宁满族自治县志 丰宁满族自治县地方志编纂委员会 中国和平出版社 1994.12 pp.1055-1102
- 高邑：高邑县志 河北省高邑县地方志编纂委员会 新华出版社 1993.5 pp.647-659
- 固安：固安县志 固安县志编纂委员会 中国人事出版社 1998.8 pp.829-836
- 河间：河间县志 河间市地方志编纂委员会 书目文献出版社 1992.11 pp.753-782
- 怀安：怀安县志 河北省怀安县地方志编纂委员会 中国社会出版社 1994.12 pp.633-641
- 获鹿：获鹿方言志 陈淑静主编 河北人民出版社 1990.8 243p.
- 井陘：井陘县志 《井陘县志》编纂委员会 河北人民出版社 1986.3 pp.627-650
- 巨鹿：巨鹿县志 巨鹿县地方志编纂委员会 文化艺术出版社 1994.5 p.676-740
- 灵寿：灵寿县志 河北省灵寿县地方志编纂委员会 新华出版社 1993.4 pp.678-710
(略称志)
- 隆尧：隆尧县志 隆尧县地方志编纂委员会 三联书店 1998.1 p.911-935
- 滦南：王辅世 河北滦南话的声调 《语言研究》1990年第1期 pp.92-105
- 南宫：南宫市志 河北省南宫市地方志编纂委员会 河北人民出版社 1995.7 pp.728-756
- 平山：平山县志 河北省平山县地方志编纂委员会 中国书籍出版社 1996.12 p.832-844
- 平乡：平乡县志 河北省平乡县地方志编纂委员会 方志出版社 1999.12 pp.857-875
- 迁安：迁安县志 河北省迁安县地方志编纂委员会办公室 中国社会出版社 1994.12 pp.549-569
- 秦皇岛：秦皇岛市志第十卷 秦皇岛市地方志编纂委员会 天津人民出版社 1994.12 pp.89-144
- 青县：青县志 青县地方志编纂委员会 方志出版社 1999.11 pp.742-761
- 清河：清河县志 河北省清河县地方志编纂委员会 中国城市出版社 1993.8 pp.678-718

- 沙河：沙河市志 河北省沙河市地方志编纂委员会 生活·读书·新知三联书店 1994.12 pp.750-766
- 山海关：山海关志 秦皇岛市山海关区地方志编纂委员会 天津人民出版社 1994.4 pp.602-610
- 深泽：深泽县志 深泽县地方志编纂委员会 方志出版社 1997.12 pp.554-581
- 唐县：唐县志 河北省唐县地方志编纂委员会 河北人民出版社 1999.8 pp.744-753
- 魏县：魏县方言研究 吴继章 河北大学硕士论文 1989.5 88p.
- 武安：武安县志 武安市地方志编纂委员会 中国广播电视出版社 1990.12 pp.876-884
- 新河：新河县志 新河县地方志编纂委员会 方志出版社 2000.7 pp.585-611
- 新乐：新乐县志 新乐县地方志编纂委员会 中国对外翻译出版公司 1997.9 pp.665-696
- 宣化：宣化县志 宣化县地方志编纂委员会 河北人民出版社 1993.3 p.870-889
- 元氏：元氏县志 元氏县志编纂委员会 中国和平出版社 1995.4 pp.468-478
- 枣强：枣强县志 枣强县地方志编纂委员会 文化艺术出版社 1994.12 pp.839-880
- 张北：张北县志 张北县地方志编纂委员会 中国社会科学出版社 1994.5 pp.648-665
- 张家口：张家口市志 张家口市地方志编纂委员会 中国对外翻译出版公司 1998.8 pp.1893-1917 (略称 志)
- 正定：正定县志 河北省正定县地方志编纂委员会 中国城市出版社 1992.3 pp.802-818
- 赵县：赵县志 河北省赵县地方志编纂委员会 中国城市出版社 1992.3 pp.537-553
- 遵化：遵化县志 遵化县志编纂委员会 河北人民出版社 1990.7 p.586-624
- 河南**
- 安阳：安阳县志 安阳县志编纂委员会 中国青年出版社 1990.2 pp.1044-1076
- 长葛：长葛县志 长葛县志编纂委员会 生活·读书·新知三联书店 1992.1 pp.611-625
- 郸城：郸城县志 郸城县地方志编纂委员会 中州古籍出版社 1992.12 pp.545-569
- 鹤壁：鹤壁市志 鹤壁市地方史志编纂委员会 中州古籍出版社 1998.9 pp.1571-1609
- 获嘉：获嘉方言研究 贺巍 商务印书馆 1989.10 267p. (略称 研究)
- 中原官話課本 賀巍等 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 1987.7 pp.437-523 (略称 課本)
- 济源：济源县志 济源市地方史志编纂委员会 河南人民出版社 1993.1 pp.497-530 (略称 志)
- 济源方言记略 贺巍 《方言》1981-1 pp.5-26 (略称 FY)
- 郑县：郑县志 郑县地方史志编纂委员会 中州古籍出版社 1996.1 pp.546-562
- 林县：林县志 林县志编纂委员会 河南人民出版社 1989.5 pp.595-621

- 栾川：栾川县志 栾川县地方志编纂委员会 生活·读书·新知三联书店 1994.11
pp.602-624
- 罗山：罗山县志 河南省罗山县地方史志编纂委员会 河南人民出版社 1987.12
pp.628-639
- 罗宁：罗宁县志 罗宁县志编纂委员会 生活·读书·新知三联书店 1991.12 pp.592-608
- 洛阳：洛阳方言研究 贺巍 社会科学文献出版社 1993.6 191p. (略称 研究)
洛阳方言词典 贺巍 江苏教育出版社 1996.12. 363p. (略称 词典)
- 密县：密县志 密县地方志编纂委员会 中州古籍出版社 1992.6 pp.590-601
- 内乡：内乡县志 内乡县地方史志编纂委员会 生活·读书·新知三联书店 1994.1
pp.749-775
- 濮阳：濮阳方言调查报告 刘行军 (河南省濮阳师范学校) 编后记 1985.10 油印稿
- 商丘：商丘县志 商丘县志编纂委员会 生活·读书·新知三联书店 1991.3 pp.505-529 (略称 志)
- 商丘市方言研究 张启焕等《开封师范大学学报》1960年7期 pp.1-41 (略称 研究)
- 商丘方言常用词语简释 袁德业《汉语论丛》第一辑 河南人民出版社 1985.10
pp.405-520 (略称 简释)
- 商丘地区：商丘地区志 商丘地区地方志编纂委员会 生活·读书·新知三联书店
1997.8 pp.1685-1758
- 上蔡：上蔡县志 上蔡县地方志编纂委员会 生活·读书·新知三联书店 1995.6
pp.631-658
- 睢县：睢县志 睢县志编纂委员会 中州古籍出版社 1989.5 pp.462-480
- 遂平：遂平县志 遂平县志编纂委员会 中州古籍出版社 1994.8 pp.522-548
- 太康：太康县志 太康县志编纂委员会 中州古籍出版社 1991.8 pp.557-600
- 汤阴：汤阴县志 汤阴县志编纂委员会 河南人民出版社 1987.2 pp.535-574
- 武涉：武涉县志 武涉县地方史志编纂委员会 中州古籍出版社 1993.9 pp.507-518
- 舞钢：舞钢市志 舞钢市地方史志编纂委员会 中州古籍出版社 1993.6 pp.719-748
- 舞阳：舞阳方言研究 崔灿等 河南大学出版社 1988.10 121p.
- 西平：西平县志 西平县地方史志编纂委员会 中国财政经济出版社 1990.9 pp.483-511
- 夏邑：夏邑县志 河南省夏邑县志编纂委员会 河南人民出版社 1989.12 pp.510-538
- 新安：新安县志 新安县地方志编纂委员会 河南人民出版社 1989.1 pp.557-581
- 信阳地区：信阳地区志 信阳地区地方史志编纂委员会 生活·读书·新知三联书店
1992.2 pp.925-948
- 许昌：许昌县志 许昌县志编纂委员会 南开大学出版社 1993.5 pp.791-819
- 郾城：郾城县志 郾城县地方史志编纂委员会 中州古籍出版社 1993.6 pp.625-666

永城：永城县志 永城县地方史志编纂委员会 新华出版社 1991.5 pp.553-575
虞城：虞城县志 虞城县志编纂委员会 中州古籍出版社 1991.7 pp.514-536
郑州：郑州方言志 卢甲文 语文出版社 1992.12 169p.
镇平：镇平县志 镇平县地方史志编纂委员会 方志出版社 1998.11 pp.925-948
周口：周口市志 周口市地方史志编纂委员会 中州古籍出版社 1994.1 pp.647-657
周口地区：周口地区志 周口地区地方史志编纂办公室 中州古籍出版社 1993.1
pp.882-918

江苏

南京：南京方言词典 刘丹青 江苏教育出版社 1995.12 440+1p.

江西

南昌：南昌方言词典 熊正辉 江苏教育出版社 1995.5 363+1p.

辽宁

岫岩：岫岩县志 《岫岩县志》编纂委员会 辽宁大学出版社 1989.6 pp.152-162

内蒙古

呼和浩特：内蒙古西部汉语方言词典 哈森等 内蒙古教育出版社 1995;1999.8
科尔沁：科尔沁右翼前旗志 《科尔沁右翼前旗志》编纂委员会 内蒙古人民出版社
1991.11 pp.970-980
乌兰浩特：乌兰浩特市志 《乌兰浩特市志》编纂委员会 内蒙古人民出版社 1993.12
pp.926-935

宁夏

同心：同心方言研究 张安生 宁夏人民出版 2000.3 338p.
中卫：中卫方言志 中卫县县志编纂委员会办公室 宁夏人民出版社 1995.9 252p.

山东

全省：山东方言词典 董绍克等 语文出版社 1997.1 663p.(略称 山东)
[曹县、高密、桓台、济宁、莱阳、青岛、青州、威海、阳谷、枣庄]
博山：博山方言研究 钱曾怡 社会科学文献出版社 1993.6 194p.(略称 研究)
博兴：博兴县志 山东省博兴县史志编纂委员会 齐鲁书社 1993.11 pp.583-609
长岛：长岛方言志 钱曾怡等 《山东史志丛刊》1992年增刊所收 后记 1985.12
119p.
成武：成武县志 山东省成武县史志编纂委员会 齐鲁书社 1992.11 pp.669-686
德州：德州方言志 曹延杰 语文出版社 1991.12 24lp.
定陶：定陶县志 山东省定陶县县志编纂委员会 齐鲁书社 1999.12 pp.689-703
东明：东明县志 东明县志编纂委员会 中华书局 1992.7 pp.532-552
东营：东营市志 山东省东营市地方史志编纂委员会 齐鲁书社 2000.5 pp.1403-1454
广饶：广饶县志 山东省广饶县地方史志编纂委员会 中华书局 1995.8 p.857-880
菏泽：菏泽市志 山东省菏泽市志编纂委员会 齐鲁书社 1993.7 pp.667-674
桓台：桓台县志 山东省桓台县史志编纂委员会 齐鲁书社 1992.3 pp.691-711

- 即墨：即墨方言音韻語彙 坂本一郎 『支那研究』54 1940.4 pp.67-126(略称 坂本)
即墨方言志 赵日新等 语文出版社 1991.3 159p.(略称 志)
- 济南：济南方言词典 钱曾怡 江苏教育出版社 1997.12 403p.(略称 词典)
济南市志(第7册) 济南市史志编纂委员会 中华书局 1997.12 pp.113-242
(略称 市志)
济南方言志 高文达 《山东史志丛刊》1992年增刊所收 后记 1985.12;1991.3
修订 87p.(略称 志)
- 莒南：莒南方言简志 钱曾怡等 全国汉语方言学第七届年会论文 1993.7 34p.
- 莒县：莒县方言志 石明远 语文出版社 1995.1 258p.
- 莱西：莱西县志 山东省莱西县志编纂委员会 山东人民出版社 1990.2 pp.851-884
- 利津：利津方言志 杨秋泽 语文出版社 1990.3 184p.+3 幅地图
- 聊城：聊城方言志 张鹤泉 语文出版社 1995.8 198p.(略称 志)
鲁西方言词汇(续) 任均泽 《方言与普通语集刊》第六本 pp.22-61 (略称
FPJ6)
- 临清：临清方言志 张鸿魁 中国展望出版社 1990.9 229p.
- 临朐：临朐县志卷38方言志(长编稿) 临朐县史志编纂委员会办公室(钱曾怡) 1986.10
54p. (略称 志)
- 临沭：临沭县志 山东省临沭县史志编纂委员会 齐鲁书社 1993.4 pp.577-697
- 临淄：临淄区志 淄博市临淄区志编纂委员会 国际文化出版公司 1989.5 p.551-569
- 牟平：牟平方言词典 罗福腾 江苏教育出版社 1997.12 428p.
- 平度：平度方言志 于克仁 语文出版社 1992.9 268p.
- 平邑：平邑方言志 李洪延 平邑县志编纂委员会办公室 1987.1 171p.
- 平原：平原县志 山东省平原县志编纂委员会 齐鲁书社 1993.9 p.719-729
- 齐河：齐河县志 齐河县志志编纂委员会 中华书社 1990.8 pp.709-716
- 曲阜：曲阜方言词例释 张志静 丁振芳 《语言学通讯》第五期 1982.11 p.118-
148 (略称 通讯)
曲阜方言志 张志静 丁振芳 《山东史志丛刊》1992年增刊所收 后记
1986.9 138p.(略称 志)
- 荣成：荣成方言 张卫东 1982年研究生毕业论文(北京大学中文系专业) 136p.(略称
张)
- 寿光：寿光方言志 张树铮 语文出版社 1995.1 230p.(略称 志)
- 郯城：郯城方言志 王希文 郯城县地方史志编纂委员会办公室 1987.8 194p.
- 滕县：滕县志 山东省滕州市地方史编纂委员会 中华书局 1990.3 pp.555-579
- 微山：微山县志 山东省微山县地方史志编纂委员会 山东人民出版社 1997.1
pp.1105-1154
- 文登：文登市志 文登市地方史志编纂委员会 中国城市出版社 1996.12 p.901-927
- 新泰：新泰方言志 高慎贵 语文出版社 1996.4 236p.(略称 志)

新泰方言研究 高慎贵 山东省语言学会·山东省方言研究会年会论文 1984
351p.(略称 研究)

烟台：烟台方言报告 钱曾怡等 齐鲁书社 1982.11 287p.

沂水：沂水方言志 张延兴 语文出版社 1999.4 250p+1map

枣庄：枣庄方言志 王希文等 山东省出版管理处枣庄出版管理办公室 1986.3 173p.

淄川：淄川方言志 孟庆泰 罗福腾 语文出版社 1994.6 257p.

邹平：邹平县志 山东省邹平县地方史志编纂委员会 中华书局 1992.1 pp.859-877

山西

长治：长治方言志 侯精一 语文出版社 1985.4 134p.

大宁：大宁县志 大宁县志编纂委员会 海潮出版社 1990.11 pp.470-495

代县：代县志 代县地方志编纂委员会 书目文献出版社 1988.6 p.462-472(略称
县志)

定襄：定襄方言志 陈茂山 山西高校联合出版社 1995.12 67p.

汾西：汾西方言志 乔全生 山西高校联合出版社 1990.1 68p.

高平：高平县志 高平县志编纂委员会 中国地图出版社 1992.1 pp.525-542

古交：古交志 古交市地方志办公室(撰者未详) 山西人民出版社 1996.8 p.570-593

和顺：和顺方言志 田希诚 语文社出版社 1990.5 118p.

河津：河津县志 河津县志编纂委员会 山西人民出版社 1989.11 p.466-483

洪洞：洪洞方言研究 乔全生 中央文献出版社 1999.12 288p.

壶关：壶关县志 山西省壶关县志编纂委员会 海潮出版社 1999.1 pp.673-699

怀仁：怀仁方言志 温端政 《语文研究》编辑部 1983.7 56p.

吉县：吉县方言志 蔡权 山西高校联合出版社 1990.1 71p. (略称 志)

介休：介休方言志 张益梅 山西高校联合出版社 1991.4 70p.

晋城：晋城方言志 沈慧云 《语文研究》编辑部 1983.10 54p.

静乐：静乐县志 静乐县志编纂委员会 红旗出版社 2000.1 pp.639-661

黎城：黎城县志 黎城县志编纂委员会 中华书局 1994.6 p.683-717

临汾：临汾方言志 潘家懿 语文出版社 1990.5 126p.

临猗：临猗县志 临猗县志编纂委员会 海潮出版社 1993.12 p.625-646

陵川：陵川方言志 金梦茵 《语文研究》编辑部 1983.12 65p.

娄烦：娄烦县志 娄烦县地方志编纂委员会 中华书局 1999.12 pp.635-701 (略称
县志)

平定：平定县志 平定县志编纂委员会 社会科学文献出版社 1992.12 pp.588-608

平鲁：平鲁方言志 郭文亮 山西教育出版社 1990.1 224p.

平顺：平顺县志 山西省平顺县志编纂委员会 海潮出版社 1997.10 p.374-383

平遥：平遥方言民俗词汇 侯精一 语文出版社 1995.4 283p. (略称 民俗)

沁县：沁县方言志 张振铎 山西高校联合出版社 1990.3 62p.

清徐：清徐方言志 潘耀武 山西高校联合出版社 1990.12 68p. (略称 志)

- 山阴：山阴方言志 杨增武 山西高校联合出版社 1990.4 66p. (略称 志)
- 寿阳：寿阳方言志 赵秉璇 《语文研究》编辑部 1984.1 57p.
- 太原：太原方言词汇 温端政 《方言》1981-4 pp.295-316 (略称 FY)
- 太原方言词典 沈明 江苏教育出版社 1994.12 377+1p. (略称 词典)
- 天镇：天镇方言志 谢自立 山西高校联合出版社 1990.9 70p. (略称 志)
- 万荣：万荣方言词典 吴建生、赵宏因 江苏教育出版社 1997.12 444p. (略称 词典)
- 万荣方言志 吴建生 《语文研究》编辑部 1984.12 56p. (略称 志)
- 文水：文水方言志 胡双宝 语文出版社 1990.5 124p.
- 五台：五台县志 五台县志编纂委员会 山西人民出版社 1988.6 pp.558-565
- 武乡：武乡方言志 史素芬、李奇 山西高校联合出版社 1990.5 65p. (略称 志)
- 忻县：忻县志 山西省忻州市地方志编纂委员会 中国科学技术出版社 1993.4 pp.579-595
- 忻州：忻州方言词典 温端政、张光明 江苏教育出版社 1995.12 450p.
- 阳高：阳高县志 阳高县志编纂委员会 中国工人出版社 1993.5 p.624-643
- 阳曲：阳曲方言志 孟庆海 社会科学文献出版社 1991.8 153p.
- 翼城：翼城方言简志 潘家懿等 《山西师大学报(社科)》1989-3 pp.99-110
- 永济：永济方言志 吴建生、李改祥 山西高校联合出版社 1990.6 68p.
- 榆次：榆次市志 山西省榆次市志编纂委员会 中华书局 1996.3 pp.1002-103
- 盂县：盂县方言志 宋欣桥 山西高校联合出版社 1991.9 68p.
- 原平：原平方言志 金梦茵 语文出版社 1989.7 128p.
- 运城：运城方言志 吕枕甲 山西高校联合出版社 1991.8 70p.
- 左权：左权方言志 王希哲 山西高校联合出版社 1991.10 70p.

陕西

- 陕北地区：陕北方言词典 刘育林等 陕西人民出版社 1991.10 215p. (略称 陕北)
[绥德、吴旗]
- 城固：城固县志 城固县地方志编纂委员会 中国大百科全书出版社 1994.2 p.733-749
- 澄城：澄城县志 澄城县志编纂委员会 陕西人民出版社 1991.4 p.599-633
- 凤县：凤县志 凤县志编纂委员会 陕西人民出版社 1994.10 p.576-598
- 凤翔：凤翔县志 陕西省凤翔县地方志编纂委员会 陕西人民出版社 1991.12 pp.911-936
- 扶风：扶风县志 陕西省扶风地方志编纂委员会 陕西人民出版社 1993.12 pp.611-626
- 府谷：府谷县志 府谷县志编纂委员会 陕西人民出版社 1994.3 pp.730-748
- 甘泉：甘泉县志 甘泉县地方志编纂委员会 陕西人民出版社 1993.10 pp.699-740
- 户县：户县方言研究 孙立新 东方出版社 2001.10 485p.

- 黄龙：黄龙县志 黄龙县地方志编纂委员会 陕西人民出版社 1995.1 pp.618-634
- 岚皋：岚皋县志 岚皋县志编纂委员会 陕西人民出版社 1993.4 pp.499-535
- 麟游：麟游县志 麟游县地方志编纂委员会 陕西人民出版社 1993.12 pp.573-586
- 陇县：陇县志 陇县地方志编纂委员会 陕西人民出版社 1993.12 pp.941-964
- 略阳：略阳县志 略阳县志编纂委员会 陕西人民出版社 1992.12 pp.518-529
- 米脂：米脂县志 米脂县志编纂委员会 陕西人民出版社 1993.3 pp.678-691
- 南郑：南郑县志 《南郑县志》编纂委员会 中国人民公安大学出版社 1990.7
pp.639-650
- 宁强：宁强县志 宁强县志编纂委员会 山西师范大学出版社 1995.2 pp.598-612
- 宁陕：宁陕县志 宁陕县志编纂委员会 山西师范大学出版社 1995.2 pp.598-612
- 蒲城：蒲城县志 蒲城县志编纂委员会 中国人事出版社 1993.7 p.690-715
- 岐山：岐山县志 岐山县志编纂委员会 陕西人民出版社 1992.8 p.653-710
- 千阳：千阳县志 千阳县志编纂委员会 陕西人民出版社 1991.3 p.352-362
- 三原：三原县志 三原县地方志编纂委员会 陕西人民出版社 2000.1 pp.985-999
- 商县：商县方言志 张成才 语文出版社 1990.5 134p.
- 神木：神木县志 《神木县志》编纂委员会 经济日报出版社 1990.12 p.539-573
- 石泉：石泉县志 石泉县地方志编纂委员会 陕西人民出版社 1991.12 pp.682-694
- 吴旗：吴旗县志 吴旗县地方志编纂委员会 三秦出版社 1991.12 pp.889-920
- 西安：西安方言词典 王军虎 江苏教育出版社 1996.12 350p.
- 西乡：西乡县志 西乡县地方志编纂委员会 陕西人民出版社 1991.12 p.591-595
- 延川：延川方言志 张崇 语文出版社 1990.5 134p.
- 耀县：耀县志 《耀县志》编纂委员会 中国社会出版社 1997.7 p.378-381
- 镇巴：镇巴县志 镇巴县地方志编纂委员会 陕西人民出版社 1996.1 pp.639-659
- 子长：子长县志 子长县志编纂委员会 陕西人民出版社 1993.12 pp.755-772
- 子洲：子洲县志 子洲县志编纂委员会 陕西人民出版社 1993.1 pp.448-472

天津

- 全市：河北方言词汇编 李行健主编 商务印书馆 1995.10 955p. (略称 汇编)
[宝坻、蓟县、天津市]
- 东丽：东丽区志 天津市东丽区地方志编修委员会 天津社会科学院出版社 1996.12
p.903-923
- 静海：静海县志 静海县志编修委员会 天津社会科学院出版社 1995.10 p.731-746

(完)

*本論文は平成15年度文部科学省科学研究費 基盤研究(B)(課題番号 13410130)「歴史文献データと野外データの総合を目指した漢語方言志研究」の研究成果の一部である。